



さばえ商工会議所報

www.sabaecci.or.jp

第34回さばえ商工振興戦略会議

サテライトオフィスで 一部上場企業が市街地に

第34回さばえ商工振興戦略会議を8月24日(木)、午前7時30分より、サバエ・シティーホテルで開催。当所から、野村名誉会頭、黒田会頭、加藤・園・永杉副会頭、孝久専務等。市から、牧野市長、中村副市長、関本産業環境部長等。(一社)鯖江観光協会から、高橋会長、田中専務が出席しました。

最初に、牧野市長が「市では、9月補正予算の時期である。福井国体の5千万円の予算で、まち美化等の取り組み。国の予算では、めがねブランド、漆器ブランドにも力をいれる。また、サテライトオフィス事業では、東証・ナスダック等の一部上場の有名なIT企業が、鯖江の市街地にオフィスを出したい希望があり、少し大きすぎだが、日本のシリコンバレーも、夢でなくなってきた。大きな飛躍が期待できる。皆様のご支援をお願いしたい」と挨拶。

次に黒田会頭が「鯖江市と商工会議所は車の両輪となって取り組んでいる。会議所としてどれほどの事ができるか、本日の資料でビジョン(案)という形で示してみた。中には、行

政で取り組んでいるものもある。個人として思うのは、パークシティ構想の中で、商工会館を『ギャラリー新』に移転し、跡地をターミナルや緑化公園等の街なか拠点にする。また、マンネリ化といわれる「ものづくり博覧会」を、メガネメッセとダブルブランドで、いっしょにやるのはどうか等。昨年の「メガネフェス」は、「吹奏楽ライブ」と一緒に催し、大成功だった。今後、検討したい。また、ITのまちさばえにも、関心をもっている。会議所では、IDEOとの連携を進めており、デザインシンキングを地方創生の核にできないか、と考えている。このようなテーマで議論を活発にし、精一杯頑張りたい」と挨拶しました。

来るまちづくり」の3テーマに絞りました。そのテーマごとに部会をつくり、第一次提案に向け意見を取りまとめ、今年10月には、鯖江市に提案する予定となっています。

②「鯖江市の商工業創生ビジョン(案)の件」は、パークシティ構想の中で、商工会館跡地を街中ターミナルや観光拠点にする案や、さばえ博覧会とメガネメッセを合わせて、鯖江市全体をめがねのまちとしてアピールする展示会案。また、国体の選手にめがねや漆器をアピールできないか等、話し合われました。

その後、報告に入り、①鯖江市の県への重要要望事項の件、②お試しサテライトオフィス事業の件、③さばえものづくり博覧会の進捗状況の件、④河和田アートキャンプの件、⑤河和田くらしの祭典の件、⑥越前漆器(協)山車まつり・越前漆器展覧会・匠展の件、⑦越前漆器「夜学塾」インターシップ、天心茶会の件、⑧RENEW×大日本市鯖江博覧会の件、⑨鯖江市活性化プランコンテストの件、⑩大学連携事業の件、⑪めがねのまちさばえDAYの件、⑫各施設入れ込み状況の件、⑬福井国体時のご協賛・まち美化実践事業所登録のお願いの件、以上について、報告されました。